

被爆国だからこそ「核武装」するのだ！

<http://yohkan.iza.ne.jp/blog/entry/2493468>

非核三原則を語るとき、たいていの政治家が胸を張る。鼻息を荒くして、これぞ平和国家の象徴だと云わんばかりの自慢げな顔つきになる。「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」と言い出した張本人の佐藤栄作もそうだったが、最近の鳩山も菅もドヤ顔だった。ふんぞり返って何を寝惚けたコトを云ってるのか、さっぱり分からない。

ああ、そうかい、非核三原則かい。それなら核ミサイルをわが国に向けて林立させる支那中共や北朝鮮とどうやって対峙するの？ こういう常識的な質問に、彼らは答えない。本来、首相たる者、如何に国民の生命と暮らしを守るか、明言すべきと思うがそうはしない。ただ平和とか対話とか当たり障りのない言葉を並べ、むにゃにゃ誤摩化すだけだ。

もちろん敵は支那と北朝鮮に限らない。ロシアは旧ソ連体制が崩壊した時点で、対日ミサイルを撤去すると大々的に発表した。実は核爆弾搭載の爆撃機がいつでも離陸出来る体制だ。韓国がいずれ北朝鮮と統一されれば、直ちに核保有国だ。竹島を不法占拠して居直る敵国が核を持つ。危なくてしょうがない。彼らの侵略からどうやって自国を守るの？ これまた、政治家はそっぽを向いて答えない。

もっともわが国が非核三原則なんてヌカしても、国際社会はまったく信用していない。これだけ核の脅威に晒されている日本が、まるっきり核無しなんて有り得ないからだ。あれだけ技術力と資金力を誇る日本だもの、核兵器を隠し

持っているに違いない。仮にあえて開発を見合わせているとしても、同盟国アメリカの核兵器が然るべきところに装備されている筈だ。国際社会はそう固く信じている。

それに「唯一の被爆国だから」と云う枕詞で「非核三原則」が出て来るのは、まっとうな論理展開じゃない。強盗に一切切切持っていかれたので鍵かけるのは止めますとか、強姦された

たので今後は裸で暮らします、みたいな狂った考え方だ。被爆を体験したからこそ、二度と核攻撃を受けぬため、自ら「核武装する」のが正しい思考だ。日本みたいな優秀な国がそんなに狂っているわけがない。非核だなんて、きっと嘘云ってるんだと世界は思っている。

だから福島原発事故で諸外国の支援を断ったりすると、ほれ見ろ、やはり日本は核兵器を隠しているとマコトしやかな報道が流れる。電力会社の隠蔽体質が、秘密裏に進んでいるであろう核開発計画と絡めて

語られたりする。核に関してはイスラエルと日本は信用出来ない、などと聞くと何だか面映い。買い被りも度が過ぎると思うが、国防問題を客観的に考える世界の人々にとって、日本が核武装しないのは余りにも不自然なコトなのだ。

非核三原則を唱えて支那やロシアや朝鮮半島のゴロツキどもを喜ばせる必要はまったくない。敵の核攻撃を抑止するには核武装しかない。今こそ、核武装三原則を高らかに唱い上げるべきだ。「核兵器作って、持って、配備する」うん、なかなか語呂がいい。

